

## 施工方法

施工方法 A	使用薬剤	セナバリアを使用した工法です。この薬剤は水を吸収する材質に施工する場合に使用します。
	施工方法 A	薬剤は水中に混入されているため、沈殿します。均一の状態になるように一定時間毎に攪拌して下さい。 施工部分が十分に乾燥していることを確認し、噴霧器にて薬剤をむらなく吹き付けます。表面が濡れる位が目安です。 吹き付け後はよく乾燥させて下さい。また、乾燥後場所により薄く白い所がでる場合がありますが、直接触れても心配ありませんし、その後の施工に何ら支障はありませんのでそのまま放置して下さい。
	施工方法 A2	絨毯の場合は下まで浸透するように吹き付け、ブラシで擦った後に乾燥させて下さい。
	施工方法 A3	薬剤をタイル目地にブラシ、刷毛等にて塗り込んで下さい。(Aの方法でもかまいません。)
	施工方法 A4	モルタルの水にセナバリアを使用します。
施工方法 B	使用薬剤	セナバリアを使用した工法です。この薬剤は水を吸収する材質に施工場合に使用します。
	施工方法 B	セナバリアに施工部材を漬け込み浸透させます。砂場は養生し、薬剤が外に流れないようにバリケードを作ります。砂場が十分に乾燥していることを確認し、薬剤をよく攪拌した後に30cm以上均一に含浸させて下さい。施工後砂場が乾燥するまでの間、雨天が心配される場合は養生シートを被せてください。
施工方法 C	使用薬剤	使用する溶剤(塗料など)により薬剤の種類が異なります。セナバリア、セナバリアT等を塗料、撥水剤、コーティング剤、ワックス、モルタル等に練り込んで使用します。
	施工方法 C	いずれも溶剤の重量比2～5%の分量を目安に練り込みます。練り込み量は都度指定いたします。その後の施工方法は従来と変わりません。
施工方法 D	使用薬剤	セナコートまたはセナシールドを使用した工法です。この薬剤は水を吸収しない材質やA工法では白色が目立つ箇所に施工する場合に使用します。
	施工方法 D	施工方法Aに同じですが、攪拌の必要はありません。セナシールドは1㎡あたり20mlが目安です。尚、すでにカビの生えている箇所は下地も発生していると考えられます。状況を調査の上、施工方法を指示致します。
施工方法 E	使用薬剤と製法	樹脂系建材をセナバリアPLを練り込んで製造します。

施工方法は大きく分けて 対象部材に直接浸透させるA、Bの方法

塗料、ワックス、コーティング材に混ぜて使用するC、Dの方法、

薬剤を練りこんで部材を製作するEの方法の3通りがあります。

相溶性のチェックは必ずしてからご使用下さい。特殊な塗料は問い合わせ下さい。

必ず乾燥面に施工して下さい。薬剤は均一になるように、施工には十分注意してください。